北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	近代社会と倫理学B	科目コード	1119	単位数	3
担当者名	麻生　尚志	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BPh204	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講義では、21世紀に入り積極的に論じられている基本的な倫理学説を学習します。講義は大まかに3パートに分かれます。序盤は、現代の道徳学説の前提になっている道徳感情論と功利主義、またカント倫理学を取りあげます。中盤は、それらの倫理学説間で問題となっている「社会秩序はどのように形成されたか」という問題を詳しく見ていきます。終盤は、ロールズの正義論をはじめとする政治哲学の主要理論を取りあげ、私たちがどのような社会で生きているかを確認します。

到達目標

近代社会の生成に伴って提案された基本的な倫理学説を理解し、これを通じて現代社会でどのような倫理問題が生じているかを理解する。その中で、学習した倫理学理論を用いて、現代の倫理問題を分析できるようになる。

授業内容

1週目 導入：カント倫理学復習、近代理性と倫理
2週目 道徳感情論
3週目 功利主義①：最大多数の最大幸福
4週目 功利主義②：多数派の専制、自由論
5週目 中間まとめ＋試験①
6週目 古代ギリシアの倫理（プラトンとアリストテレス）（１）プラトン『ソクラテスの弁明』
7週目 古代ギリシアの倫理（プラトンとアリストテレス）（２）プラトン『ゴルギアス』
8週目 古代ギリシアの倫理（プラトンとアリストテレス）（３）アリストテレス『ニコマコス倫理学』
9週目 事実と当為、自然主義的誤謬
10週目 中間まとめ＋試験②
11週目 倫理は学になるのか（１）（バーナド・ウィリアムズ）
12週目 倫理は学になるのか（２）（ジェイムズ・レイチェルズ）
13週目 学としての功利主義（レイチェルズ、ピーター・シンガー）
14週目 人と共に生きるとはどういうことだろうか
15週目 まとめ＋試験③
16週目 テスト予備日（15週に受験できなかった人のための）＋答案返却（希望者のみ）

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回次回のおおまかな予告をしますので、「え、どういうことだろう」と想像を膨らませてください。（３０分の予習）。また、講義後は、専門用語などについて再確認し、講義した内容について友達と議論をしたり、自分であれこれ「別のようにも考えられる」など熟考してください。また、質問への回答プリントを参考に、「さらに深く理解する」こともしてください。（１時間半の復習）

成績評価の方法・基準

全3回の試験で評価します。第1回30点、第2回30点、第3回40点です。各試験の受験資格は、それまでの出席が3分の2以上あることです。

履修上の留意点

進行状況に応じて講義計画を変更する場合があります。各回の内容は相互に関連しています。その都度関連を把握しながら検討を進めるので、学習した内容を随時復習して議論の流れを見失わないようにしてください。

課題に対するフィードバックの方法

テストを採点してコメントを入れて返却します。また、各回に質問用紙を配布しますので、それに質問を書いてくだされば、次回にそれへの回答をプリントにして配布します。

テキスト

プリントを配布します。適宜参考文献を紹介します。

参考書

適宜授業で紹介します。

更新日付

2026/02/25 10:17